

★特集★ 防災特集 ～想定し、備えておきましょう！～

近年、全国的に災害が多発しています。しかし、様々な状況を想定し、備えることで、被害をできる限り最小化することにつながります。このような自然災害への向き合い方を「減災」と言い、「多重防御」の考え方が重要であり、一つ一つの積み重ねにより効果を発揮するのだそうです。一人一人が自分のこととして考え、減災に取り組んでいきましょう。保護者の皆様には、「緊急時児童生徒引き渡し【確認】カード」の提出や、防災リュックの準備等、ご協力いただきありがとうございました。校内での防災訓練の様子を紹介します。写真を見ながら家庭でも話題にしてみてください。

10/16（金）校内防災訓練の様子



■DVD「災害から身を守るために」



■運動場への避難訓練
どの学部も落ち着いて避難できました



■簡易トイレ体験
体験しておく緊急時の利用も安心ですね



■アルミマット体験
1人1枚備蓄しています



■本校の発電機
動力はカセットボンベです



■防災食展示コーナー
アルファ化米の実演や展示された防災食を見ました

【実際の引き渡しの流れ】

- 引き渡しカードの提出
- ↓
- 事前の登録名簿での引き取り者の照合
- ↓
- 引き渡し

【家庭における防災対策実態調査】の集計結果

御協力ありがとうございました



〈災害に関する意識・知識〉

現在住んでいる地域で災害の恐れが最もあると回答されたものは「台風（暴風雨）」でした。また、災害に対して「安全とも危険とも言えない」という回答が最も多く、不安を持ちつつ生活されていることがわかります。そのため、ほとんどの方が自宅近くの指定避難所や福祉施設をご存知でした。

一方、7割近くの方が各市町から配付されている「防災ハザードマップ」を読まれています。避難所への経路途中における危険箇所をご存知の方は半分にとどまりました。

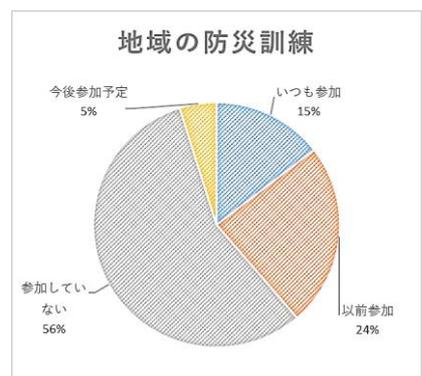
〈防災対策に関する取り組み〉

万が一被災した場合に、家族と連絡方法を決めている方は意外に少なく、決めている方は25%にとどまりました。

本校で配付している「緊急時引き渡し【確認】カード」は83%の家庭で記入保管がなされていました。今後100%をめざします。地域の避難訓練に参加したことがあるかの問いでは参加していない方が最も多かったです。

〈我が家のおすすめ・台風を経験されて〉

災害に備えた防災食は、普段食べ慣れているものが多く、防災グッズとして「懐中電灯やランタン、モバイルバッテリー、発電機」が多くありました。災害の備えとして「窓ガラスに板や養生テープ、浴槽への水貯め、車のガソリン給油、氷をつくる」が多くありました。



非常食の紹介

子どもさんの実態によって異なりますので、平常時に実際に食べてみる事が大切です。おかゆ等のレトルト系の食料は、プラスチックコップとスプーンがあると容器を持って食べやすいようです。缶に入った長期保存可能なパンや水を入れて50分程度でできるアルファ米、手軽なお菓子やガム、カロリーメイト等も多く見られました。

